

令和3年度と令和4年度に修繕した神楽面紹介

令和3年度 4面の修繕総額
三十四万一千六百六十円

※県補助金二十万円



右上◆岩長姫(いわながひめ)般若
右下◆小福(ひよつと)女
左上◆石凝姥(いしごりどめ)般若
左下◆手力男(たじからお)



※県補助金：「群馬のふるさと伝統文化」支援事業補助金

令和4年度 4面の修繕総額
四十五万八千七百円

※県補助金二十万円



右上◆経津主の神(ふつつぬしのみこと)のみ
右下◆猿田彦(さるたひこ)
左上◆牝狐(いなふくみのかみ/メス)
左下◆魔神(あまのじやく)



神楽面を展示

—耳飾り館「むかしの暮らし展」—



令和5年3月2日と3日の二日間、耳飾り館で開催されていた「むかしの暮らし展」に神楽面展示コーナーを設けて、修繕した右の神楽面を来館者に見ていただきました。

3日には、社会科の校外学習で訪れた北小学校3年生の皆さんが、普段近くで見られない神楽面を興味深く見入っていました。

新春伝統芸能大会へ参加

令和5年1月22日に南部コミュニティセンターにおいて榛東村文化協会主催の第1回新春伝統芸能大会が開催されました。

常将神社を始めとする神楽や獅子舞を継承する6団体(常将神社太々神楽、新井八幡神社太々神楽、広馬場太々神楽保存会、大宮神社獅子舞保存会、南新井獅子舞保存会、宿稻荷神社獅子舞保存会)が参加、それぞれ一演目を披露しました。この大会は、本年度も計画されており、入場を制限せずに開催できることが期待されます。



写真は榛東村教育委員会(耳飾り館)提供

幻の演目「蛭子の舞」に挑戦

太々神楽部では、大正15年に復興してから現在に至るまでに、消滅してしまった幻の演目「蛭子(ひるこ)の舞」の復活に挑戦中です。

この演目は、釣り好きの恵比寿様と医者に扮した大黒様等が登場する内容で、大人も子供も楽しめます。3年後の常将神社太々神楽・復興一〇〇周年記念事業のひとつとして取り組んでいます。

太々神楽部員を募集中

山子田地内にお住まいの方で興味のある方は、各区にいる神楽保存会の役員さん(自治会長、農業委員会の委員、神社総代など)へお申し出ください。

常将神社 秋季例大祭

開催日：10月8日(日)

神楽の奉納

AM 9:30~PM 3:00

※正午~PM1:00昼休憩

※各区親睦会の屋台及び敬神婦人会等の踊りはありません。